

令和 6 年 度

事業報告書

北九州市社会福祉協議会
地域福祉部 活動推進課
(ボランティア・市民活動者の研修・養成事業)

目 次

1 事業の総括	1
2 研修実施状況一覧	2
3 研修実施内容	
(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成	
○ 新たな社会問題に対応する講座.....	6～9
○ ふくしのまちづくり講座	10～25
○ 市民講演会	26～28
(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成	
① 入門者	
○ 福祉有償運送運転協力者研修	29～40
○ 障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座.....	41～42
○ 災害ボランティア養成講座	43～46
② リーダー	
○ ボランティアグループ運営研修	47～48
(3) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の育成	
① 現任者	
○ 地域福祉活動専門研修	49～50
② 役員	
○ 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	51～52
○ 校(地)区社協新任役員研修	53～54
○ まちづくりゼミナール	55～56
(4) 地域を支援する社協職員の育成	
○ 地域を支援するためのスキルアップ研修①	57～58

1 事業の総括

前身が社会福祉ボランティア大学校である当事業では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、孤独・孤立防止や助け合い活動をテーマに、福祉の視点から人材の養成・育成を目指した研修を実施し、延べ1,263人が研修を受講しました。

継続して重点的に取り組んだ「ふくしのまちづくり講座」では、各校(地区社協、市・区社協協働で講座を企画し、地域の人材発掘や地域住民による小地域福祉活動の充実をはかりました。あわせて、講座をきっかけとして、新たな活動の担い手を養成しました。

新規の取組としては、「地域を支援するためのスキルアップ研修」において、地域を支援する役割を担う本会職員が、地域で出前講演や福祉教育プログラムなどの人材育成を行う際に必要となる知識を習得し、資質向上に努めました。

このほか、受講後の成果として、「ふくしのまちづくり講座」実施校(地区)の一年後の調査では、福祉協力員をはじめとした新たな活動の担い手が13名、協力施設職員5名、協力企業1社が地域福祉活動に加わることとなりました。「新たな社会問題に対応する講座」では受講をきっかけとして、31名の方が新たに子どもの支援や、見守り、居場所づくりの活動への意欲を高めました。

2 研修実施状況一覧

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- 新たな社会問題に対応する講座 詳細 No.1
- ふくしのまちづくり講座 詳細 No.2
- 市民講演会 詳細 No.3

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
新たな社会問題に対応する講座	市民	2	1	2	49	10・11
ふくしのまちづくり講座	校(地)区民	8	2	16	504	8～2
市民講演会	市民	1	1	1	85	11
計		11	—	19	638	—

※終活をテーマにした市民講演会は、市政だよりでの募集開始と同時に申し込みの電話が殺到しました。申し込み者のうち、83%は高齢女性で、超高齢社会で生じる喫緊の課題とニーズが顕在化しました。

(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

- ① 入門者
 - 福祉有償運送運転協力者研修 詳細 No.4
 - 障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座 詳細 No.5
 - 災害ボランティア養成講座 詳細 No.6
- ② リーダー
 - ボランティアグループ運営研修 詳細 No.7

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
入門者	福祉有償運送運転協力者研修	福祉有償運送実施団体の運転協力者を希望する者	3	2	6	83 (うちセダン型18人)	6・11・1～2
	障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座	市民	1	1	1	26	9
	災害ボランティア養成講座	市民	2	1	2	73	9
リーダー	ボランティアグループ運営研修	ボランティア・NPO等で活動されている方	1	1	1	14	11
計			計	7	—	10	196

(3) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成

① 現任者

- 地域福祉活動専門研修

詳細 No.8

② 役員

- 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」
- 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修
- まちづくりゼミナール

詳細 No.9

詳細 No.10

詳細 No.11

	研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
現任	地域福祉活動専門研修	校(地)区社協の実務者	1	1	1	94	12
役員	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社協役員	1	1	1	145	2
	校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修	校(地)区社協新任役員	1	1	1	87	6
	まちづくりゼミナール	校(地)区社協・まちづくり協議会役員、民生委員等	1	3	3	82	11~1
	計		4	—	6	408	—

※「トップセミナー」及び「校(地)区社会福祉協議会新任役員研修」は、対面型と動画配信との併用実施。

(4) 地域を支援する社協職員の育成

- 地域を支援するためのスキルアップ研修

詳細 No.12

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
地域を支援するためのスキルアップ研修	社協職員	1	1	1	21	7
計		1	—	1	21	—

3 調査・研究・広報

(1) 調査

名称	回数	日程
令和5年度「ふくしのまちづくり講座」実施校(地)区の調査	1	令和6年9月6日~11月5日

(2) 広報紙・パンフレット・事業報告書の作成

資 料 名	発行部数	発 行 日
研修レポート・講座案内等 (『北九州市社協だより』掲載)	2	令和6年7月1日・11月1日
「市民講演会」講座案内 (新聞掲載)	1(WEB版掲載)	令和6年9月23日～10月19日
パンフレット(ボランティア研修案内) 「やさしさの広がるまちづくり」	2,300	令和6年5月29日
令和5年度事業報告書	1(HP掲載)	令和6年6月27日

4 過年度の参加者推移

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年 度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	延べ参加人数(人)
R2	17	33	978
R3	17	33	916
R4	15	28	828
R5	18	33	994
R6	11	19	638

(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

年 度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
R2	10	13	283
R3	10	13	217
R4	10	13	249
R5	7	10	216
R6	7	10	196

(3) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成

年 度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
R2	22	24	826
R3	11	13	598
R4	11	13	738
R5	11	13	710
R6	4	6	408

(4)延べ研修参加人数

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
R2	53	74	2,174
R3	42	63	1,781
R4	39	57	1,853
R5	39	59	1,956
R6	23	36	1,263

— 令和6年度 —

子育て支援ボランティア養成講座 実施要領

～新たな社会問題に対応する講座～

1 目 的 子どもはみな、若木のように伸び伸びと健やかに育つ力を持っています。
 しかし、成長する過程では、学校や家庭のことで悩んだりするだけでなく、時には貧困、虐待、いじめによる不登校や自殺などの厳しい環境にさらされる時もあります。今回は子ども食堂の活動とヤングケアラーへの理解・見守りを知ること、子どもの異変に気付いた時に子どもの思いを聞き、子どもの育つ力を助けられるようなボランティア活動への参加の契機を提供します。

2 実施主体 北九州市社会福祉協議会

3 会 場 ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）

※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

4 対 象 者 子どもに向けたボランティア活動に意欲的な方（定員30名）
 ※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。

5 受講料 700円

6 日程・内容

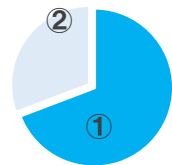
日 時		内 容	講師等
11月1日 (金)	13:00～	受 付	
	13:30～	開 講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	13:40～ 14:40	子ども食堂について ～子ども食堂の支援と食堂でのボランティア活動について～	北九州市子ども家庭局こども若者育成課 居場所づくり担当係長 武田 典之
		ぜんぶちがう子ども食堂 子ども食堂を応援するいろんな方法	特定非営利活動法人 あそびとまなび研究所 理事長 秋葉 祐三子
	14:40～ 14:50	休憩	
	14:50～ 15:40	こどもの思いを理解してみんなで見守ろう～ヤングケアラーについて～	北九州市立大学 地域創生学群 基盤教育センター 准教授・スクールソーシャルワーカー 寺田 千栄子
	～15:50	閉講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

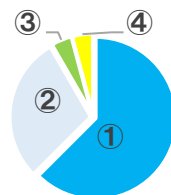
参 加 者	申込者数 (男・女)	出席者数 (出席率)	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	44 人 2 ・ 42	30 人 68.2 %	30 人	64.1 才		延 1 日	延 2 時間

■ アンケート結果

全 体 評 価	回 答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	① 満足できた	② どちらかと言うと 満足できた	③ どちらとも 言えない	④ あまり満足 できなかった	⑤ 不満だった
	27 件 90 %		18 66.7 %	8 29.6 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



K P I	回 答 (回答)	ボランティア について 活動希望	① やってみたい と思う	② 情報収集をして今後 活動を検討する	③ どちらとも 言えない	④ しないと思う
	27 件 90 %		15 55.6 %	7 25.9 %	1 3.7 %	1 3.7 %



主 な 意 見	■ 子ども食堂の多様性や役割も様々と言うことがわかりました。
	■ お手伝いとヤングケアラーの違いについては考えさせられた。
	■ 知らない事が多すぎてびっくりした。地域関係が希薄になっていたと思いました。

■ 事業点検

点 検 ・ 講 評 (今後の取り組み)	■ 受講後のアンケートでは、子ども食堂のボランティアを“やってみたい”“今後活動を検討する”と言う方が受講者30人中22人あり、活動の契機を提供できたと思う。
	■ 子どもを取り巻く環境の厳しさと、ヤングケアラーへの配慮の学びともなった。

■ 研修風景

開会挨拶		「子ども食堂について子ども食堂の支援と食堂でのボランティア活動について」	
「ぜんぶちがつ子ども食堂 子ども食堂を応援するいろんな方法」		「子どもの思いを理解してみんなで見守ろうヤングケアラーについて」	

— 令和6年度 新たな社会問題に対応する講座② — 実施要領

居場所づくりを通じたボランティア養成講座

～居場所を通じて若者や認知症の方と介護者を支える～

- 1 目 的 居場所とは、地域住民の誰もが気軽に立ち寄ることが出来る場所であると同時に、人の心を休めたり、活躍したりできる環境でもあります。
本講座では、「居場所」をキーワードとして、若者世代の巣立ちを地域で見守るボランティア活動と、認知症当事者と介護者を支える近隣助け合いボランティア活動について学ぶとともに、その参画について考えます。
- 2 実施主体 北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場 ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者 ボランティア活動に意欲的な方（定員30名）
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料 700円

6 日程・内容

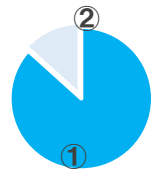
日 時		内 容	講師等
10月12日 (土)	13:00 ～	受 付	
	13:30 ～	開 講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	13:40 ～ 14:10	「仲間と一緒に、何か少しでも人の役に立つ人生を送りたい」	おとなりさんネットワーク「えん」 代表 田代 久美枝
	14:10 ～ 14:25	居場所づくり「火曜日の会」について	
	14:25 ～ 14:35	休憩	
	14:35 ～ 15:15	居場所を通じて若者世代の巣立ちを地域で見守るNPO BeWithの活動について	特定非営利活動法人 BeWith 代表理事 坂本 規久子
	～ 15:20	閉講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

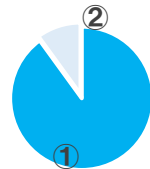
参 加 者	申込者数 (男・女)	出席者数 (出席率)	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	23 人 5 ・ 18	19 人 82.6 %				延 1 日	延 2 時間

■ アンケート結果

全 体 評 価	回 答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回答)		満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	17 件 89.5 %		13 76.5 %	2 11.8 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



K P I	回 答	ボランティア について	①	②	③	④
	(回答)		やってみたい と思う	情報収集をして今後 活動を続ける	どちらとも 言えない	しないと思う
	17 件 100 %		9 52.9%	1 5.9 %	0 0 %	0 0 %



主 な 意 見	■ 地域に色々な方が集まれる場所がある、優しい関係がとても素敵だと思います。
	■ コロナ禍で人生を振り返り、隣人を大切にする、地域を大切にするを再び考えました。
	■ 多様な意味を含むボランティアの概要を改めて確認できて良かったです。

■ 事業点検

点 検 ・ 講 評 (今後の取り組み)	■ 日頃から地域で活動されている方や認知症カフェを開催されている方をはじめ、居場所作りやボランティア活動に意欲のある受講者が多かった。
	■ 社会が抱えている孤独・孤立の問題を地域全体で考え“社会の網の目を塞ぐ活動”と捉え行動されている話に共感する方が多く、見守りや居場所づくりについてのボランティアをやりたい、活動を継続したいという方が19名参加の中、9名あった。

■ 研修風景



— 令和6年度 —

ふくしのまちづくり講座（門司区・古城校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。

古城校区では、参加者があらためて地域で助け合う事の大切さを学びながら、サロンや健康づくりを通じて住民同士の交流をはかるとともに福祉活動への気持ちを高め、小地域福祉活動計画に策定へのあゆみを進めていきます。

- 2 実施主体** 古城校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会 門司区事務所

- 3 会 場** 古城市民サブセンター 多目的ホール（北九州市門司区浜町6—25）

- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方 20人

- 5 受 講 料** 無料

- 6 タイトル** みんなでつくる 古城のふくしプラン

7 研修日程・内容

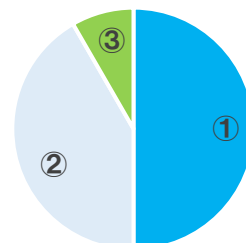
日 程		内 容	講 師 等
一日目 1月 16日 (木)	10:00 ～ 10:05	開 会・オリエンテーション	古城校区社会福祉協議会 会長 増田 英司
	10:05 ～ 10:30	ちょっと先の 「わたしたちのまちの福祉はこうなったらいいな」 の思いをカタチにした計画について	門司区社会福祉協議会 主事 大石 麻央
	10:30 ～ 11:30	珠洲市災害ボランティアセンター派遣報告からみんなが安心して暮らせるまちづくりを考える	門司区社会福祉協議会 主事 島田 彩也香
二日目 1月 30日 (木)	10:00 ～ 10:10	よりよいまちを目指して ～古城校区の小地域福祉活動計画について～	古城校区社会福祉協議会 会長 増田 英司
	10:10 ～ 11:25	できたらいいな、こんなサロン ～懐メロで 笑って 楽しく音楽体操 ～	NPO 法人北九州スポーツクラブ連絡会 理事長 田村 香代子
	11:25 ～ 11:30	閉会	門司区社会福祉協議会 事務所長 上田 善浩

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	20 人 5・15	21 人 105.0 %				2 日	1.5 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回答)		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	12 件 85.7 %		6 50.0 %	5 41.7 %	1 8.3 %	0 0.0 %	0 0 %



主な意見	■ 一人暮らしなので、このように支えてもらっているのだと知りました。少し安心しました。地域は住みやすいのですが…
	■ 家に閉じこもっていました。勇気を出して来れたので楽しかったです。
	■ 災害地区の物を買うことで応援したい。人とのつながりが大事だと再認識しました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回は小地域福祉活動計画策定と同時進行でふくしのまちづくり講座を開催した。計画の中でサロンや朝市の開催を検討しているとのことで、サロンで取り入れたい音楽体操のリクエストがあり、カリキュラムに取り入れた。参加者に非常に好評で、講座アンケートを通じてサロンへのニーズ収集にもつなげることができた。
--------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		「ちょっと先の『わたしたちのまちの福祉はこうなったらいいな』の思いをカタチにした計画について」	
「よりよいまちを目指して～古城校区の小地域福祉活動計画について」		「できたらいいな、こんなサロンへ懐メロで笑って 楽しく音楽体操」	

— 令和6年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉北区・足立校区）実施要領

- 1 趣 旨 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。
足立校区では、参加者があらためて地域で助け合う事の大切さを学びながら、参加者同士の交流を図り、福祉活動への気持ちを高め、地域で楽しく共に活躍できる活動者を増やす事を目指します。
- 2 実施主体 足立校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場 足立市民センター 多目的ホール（小倉北区宇佐町1丁目8-15）
- 4 対 象 者 町内会長、福祉協力員、民生委員児童委員、
足立校区の助け合い活動に関心のある方等
- 5 受 講 料 無料
- 6 タイトル 「気づく力を高めよう！～いつまでも安心して暮らせるまち足立～」
- 7 研修日程・内容

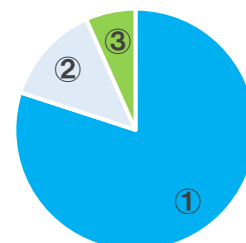
日 程		内 容	講 師 等
一日目 9月 12日 (木)	14:00 ～ 14:05	開 会	足立校区社会福祉協議会 会長 緒方 直文
	14:05 ～ 16:00	講 話 「気づく力を高めよう！～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う、地域共生社会を目指して～」	九州大谷短期大学 幼児教育学科 教授 中村 秀一
二日目 11月 26日 (火)	14:00 ～ 15:55	「あったらいいな！こんな助け合い～足立校区の福祉活動についてみんなで話し合ってみよう～」	小倉北区社会福祉協議会
	15:55 ～ 16:00	閉会	足立校区社会福祉協議会 会長 緒方 直文

■ 実施状況

受 講 者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	16 人 8 ・ 8	16 人 100 %				2 日	4 時間

■ アンケート結果

全 体 評 価	回 答	研修全体 について 満足 できたか？	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	15 件 93.8 %		12 80.0 %	2 13.3 %	1 6.7 %	0 0 %	0 0 %



主 な 意 見	■ 困っている事、良かった事、これからやってみたい福祉活動、たくさんの意見が出ました。こんな意見交換の場はとても大切だと思います。
	■ 色々な意見を聞く事ができて知らない事も多かったので改めて福祉活動に関心を持った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 都心に隣接している事もあり狭道で交通に関する悩みも多く、独居や地域の高齢化も進行し若年層の流出、近隣の交流も希薄で不安という声も上がった。グループワークでは、困り事の共通認識が高まり、繋がりや、情報交換の場が必要など、具体的に小地域活動計画について話し合う事も出来た。
--------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		一日目「気づく力を高めよう！地域が『丸ごと』つながり互いに助け合つ、地域共生社会を目指して」	
二日目「あったらいいな！こんな助け合い、足立校区の福祉活動についてみんなで話し合ってみよう」		二日目「グループワーク発表」	

— 令和6年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉南区・東朽網校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、校区における新たな地域人材の育成や、地域の福祉課題の解決等を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働して開催する講座です。
本講座では、令和5年度に策定した小地域福祉活動計画をもとに、日ごろの見守りや、防災について学びながら、地域で助け合うことの大切さを再確認し、福祉活動への気持ちを高め、よりよいまちを目指していきます。
- 2 実施主体** 東朽網校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場** 1日目：東朽網市民センター（小倉南区大字朽網1215-1）
2日目：「こくら三礼庵」（小倉南区朽網東五丁目3-7）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「さまざまな世代が交流し ともに支え合い 安心して健康に暮らせるまち 東朽網」

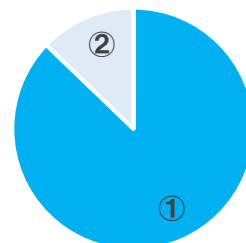
日 程	内 容	講 師 等
《1日目》令和6年12月14日（土）東朽網市民センター		
10:00 ～	開 会	東朽網校区社会福祉協議会
10:05 ～	オリエンテーション	東朽網校区社会福祉協議会 小倉南区社会福祉協議会
10:05 ～ 11:30	「幸せな人間関係と相手に圧迫感を持たせないソフトな見守りのコツ」	西南女学院大学 保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
《2日目》令和7年1月25日（土）こくら三礼庵		
10:00 ～ 10:15	小地域福祉活動計画の取り組みについて	東朽網校区社会福祉協議会
10:15 ～ 11:30	「災害への備え～あなたの意識をアップデートしましょう・ながら防災のススメ～」	北九州市立大学 地域共生教育センター 副センター長 地域創生学群 准教授 村江 史年
11:30	閉会	東朽網校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受 講 者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 研 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	45 人 8 ・ 37	44 人 97.8 %				2 日	1.5 時間

■ アンケート結果

全 体 評 価	回 答	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回答)		満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	42 件 95.5 %		34 81.0 %	5 11.9 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0 %



主 な 意 見	■ 自分の生活の中で、沢山声かけや笑顔を意識したいと思います。
	■ トイレの実習など、話だけでなく実際に体験していたら、いざという時に役に立つと思います。
	■ 自助、共助の大切さがわかりました。

■ 事業点検

点 検 ・ 講 評 (今後の取り組み)	■ どの校（地）区であっても、災害に対する備えというテーマは共通項であり、身近な話題である。各地で様々な災害が頻発する今、校区行事と防災をコラボさせる「ながら防災」に取り組むという考え方は、地域住民に取り入れやすく、講座時だけでなくモチベーションを継続させるために有効だと思う。併せて、非常時こそ自助、共助が不可欠であり、平時から培う必要性の再認識につながった。
------------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		「幸せな人間関係と相手に圧迫感を持たせないソフトな見守りのコツ」	
「小地域福祉活動計画の取り組みについて」		「災害への備え・あなたの意識をアップデートしましょう・ながら防災のススメ」	

— 令和6年度 —

ふくしのまちづくり講座（若松区・江川校区） 実施要領

- 1 **趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校(地)区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。
江川校区では、2025年～2029年までの5か年計画『江川校区ふくしプラン』を今年度策定いたします。本講座では、高齢者や障害のある方などに限定せず、地域に暮らす方々のための地域づくりを参加者みんなで考えながら、福祉活動への気持ちを高め、『江川校区ふくしプラン』策定へのあゆみを進めていきます。
- 2 **実施主体** 江川校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会
- 3 **会 場** 有毛公民館（若松区大字有毛 682-1）
- 4 **対 象 者** 地域にお住まいの方、校(地)区社協役員、福祉協力員、民生委員・児童委員 等
- 5 **受 講 料** 無料
- 6 **タイトル** 「江川校区でず～っと暮らしたい！」
～人生100年時代！いつまでも安心して暮らすために～

7 研修日程・内容

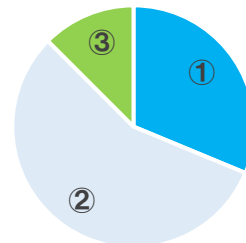
日 程		内 容	講 師 等
一日目 11月1日 (金)	19:00	開 会	江川校区社会福祉協議会 会長代行 小田 國次
	19:05 ～ 20:00	【講 演】 「みんなで話そう、校区のみらい ～小地域福祉活動計画のすすめ～」	福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授 村山 浩一郎
二日目 11月15日 (金)	19:00 ～ 19:50	超高齢社会体験ゲーム 「コミュニティコーピング」 ～ゲームを通じて、地域のことを考えてみよう～	コミュニティコーピング 認定ファシリテーター 北九州市社会福祉協議会 地域支援課 前田 純志
	20:00	閉 会	江川校区社会福祉協議会 副会長 多田 政博

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	16 人 11・5	16 人 100%					2 日	2 週間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回数)		満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	16 件 100%		5 31.3%	9 56.3%	2 12.4%	0 0.0%	0 0%



主な意見	■ このままだと高齢化に一直線！ただ活力を持って何かをしなければならぬヒントにつながるお話だったと思う。地域の問題を若者も入れて方向性を出さないと！
	■ 他区の社協活動計画例が参考になった。
	■ ゲームを通じて問題解決の方法が良く理解できた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 江川校区の特性として農業、漁業、市街化調整区域など、校区の課題は様々で、活動者の高齢化も懸念される中、話し合いや活動計画を進めることが難しい。しかし、グループワークをゲーム方式にする事により、協力しながら身近な問題を解決へ導き皆で工夫し、実践に近い取り組みが想像できるととても好評だった。
--------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		一日目「みんなで話そう、校区のみらい」 ～小地域福祉活動計画のすすめ～」	
二日目「超高齢社会体験ゲーム「コミュニケーション」 ～ゲームを通して、地域のことを考えてみよう～」		二日目「超高齢社会体験ゲーム「コミュニケーション」 ～ゲームを通して、地域のことを考えてみよう～」	

— 令和6年度 —

ふくしのまちづくり講座（八幡東区・大蔵第一地区）実施要領

- 1 趣 旨 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校(地)区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。
大蔵第一地区では、みんなが主役、元気・安心、支えあいのまち大蔵をスローガンとして住民同士のつながり、助け合い、住みよいまちづくりを目指しています。本講座では、超高齢社会の中で、支え合いの地域づくりに向けて何をすべきかを参加者みんなで考え、学ぶきっかけとします。
- 2 実施主体 大蔵第一地区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場 大蔵市民センター（北九州市八幡東区大蔵2-1-40）
- 4 対 象 者 地域にお住まいの方、校(地)区社協理事、福祉社協力員（町内会長）、ふれあい通信員（組長）、民生委員・児童委員 等
- 5 受 講 料 無料
- 6 タイトル 「みんなが主役、元気・安心、支えあいのまち大蔵」

7 研修日程・内容

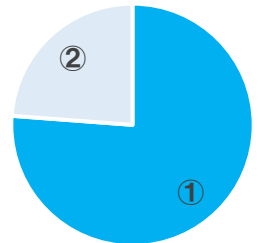
日 程		内 容	講 師 等
一日目 9月 3日 (火)	19:00	開 会	大蔵第一地区社会福祉協議会 会長 森野 恵子
	19:05 ～ 20:30	【講 演】 「5年後、10年後のわたしたちのまちを 考える～小地域福祉活動計画の必要性について ～」	福岡県立大学 社会福祉学科 教授 村山 浩一郎
二日目 10月 1日 (火)	19:00 ～ 19:20	【事業説明】 「大蔵第一地区の元気プラン（第3次計画） について」	大蔵第一地区社会福祉協議会 副会長 石川 隆
	19:20 ～ 20:25	【講 演】「地域で活動するボランティアの 支援力向上のコツ～雑談力、聴く力等の向上 で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ ～」	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島俊介
	20:30	閉 会	大蔵第一地区社会福祉協議会 会長 森野 恵子

■ 実施状況

受 講 者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	45 人	37 人				2 日	3 時間
	- - -	82.2 %	72 人	- 才			

■ アンケート結果

全 体 評 価	回 答	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回答)		満足できた	どちらか と言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	22 件 62.9 %		16 72.7 %	5 22.7 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0 %



主 な 意 見	■ 自治区が解散となって、隣近所の様子がわからなくなった状況を聞くと、地域のつながりが大事と思う。
	■ 我々の町内会は福祉の仕組みも含め、全員が知るべきと考え、組長さんが福祉協力員となり、持ち回りとしている。皆が知ってもらえる事が大事である事を認識した。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 現在は見守り、助け合いができていく地区であるが、高齢化が進んでおり、今回の講義テーマのように5年後、10年後の地区の姿を考え、地域福祉活動を存続させるにはという視点で、第3次計画と照らし合わせて、現状の課題認識と将来の展望（こうありたい地区像）に気づく機会となり、活動推進の意欲につながったと思う。
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		「5年後、10年後のわたしたちのまちを考える」小地域福祉活動計画の必要性について」	
「大蔵第一地区の元気プラン（第3次計画）について」		「地域で活動するボランティアの支援力向上のコツ」雑談力、聴く力等の向上で対話による良好な人間関係の構築を学ぶ」	

— 令和6年度 —

ふくしのまちづくり講座（八幡東区・槻田第二地区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の困りごとや現状を知り、新たな人材を見つけ出すことを目指します。その為に、校(地)区社協・区社協・市社協が協力して共に活動できるように講座を開催するものです。
- 槻田第二地区では、地域にお住まいの方や福祉協力員・ふれあい通信員・民生委員・児童委員等を対象に、誰にも等しく訪れる老いとともに身近な問題となる認知症について知り、声かけや接し方・予防について学ぶ講座を行うことで、超高齢社会の中で支え合いの地域づくりに向けて何をすべきかを参加者みんなで考え、学ぶきっかけとします。
- 2 実施主体** 槻田第二地区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場** 高見市民センター（北九州市八幡東区高見2-8-20）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方、福祉協力員（町内会長）、ふれあい通信員（組長）、民生委員・児童委員 等
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「認知症を知ろう、学ぼう～あなたと身近な方のためにも～」

7 研修日程・内容

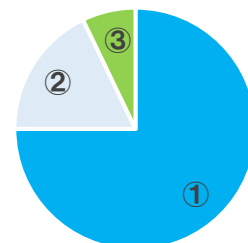
日 程		内 容	講 師 等
一日目 11月30日 (土)	10:00 ～ 10:05	開 会	槻田第二地区社会福祉協議会 会長 長尾 由起子
	10:05 ～ 10:20	【事業説明】 「みんなで支え合い、明るく住みよいまちづくり～ふれあいネットワーク活動について～」	八幡東区社会福祉協議会 主事 林 康平
	10:20 ～ 12:00	【講 演】 「認知症予防と安心して暮らし続けるために」	医療法人ふらて会 西野病院 院長 西野 憲史
二日目 1月18日 (土)	10:00 ～ 11:00	【グループワーク】 「認知症の方も安心して暮らせる地域に向けて」	槻田第二地区社会福祉協議会 八幡東区社会福祉協議会 主事 林 康平
	11:00 ～ 11:10	休憩	
	11:10 ～ 11:55	【実技】 「いつまでも元気で暮らすために～シナプソロジーなどを取り入れて 楽しく認知症を予防しましょう～」	NPO 法人 北九州スポーツクラブ連絡会 理事長 田村 香代子
	11:55 ～ 12:00	閉 会	槻田第二地区社会福祉協議会 会長 長尾 由起子

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	50 人	62 人					2 日	2 時間
	- - -	124.0 %	96 人	- 才				

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回答数)		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	28 件 82.4 %		21 75.0 %	5 17.9 %	2 7.1 %	0 0.0 %	0 0 %



主な意見	■ 定期ごとに地域ごとに、講座等の集まりに参加できる方を取りこぼしのないように増やす意味でも、定期的な開催を継続することが重要。
	■ ボランティアの状況、見守りについての説明がわかりやすく、地域活動に生かしたい。
	■ 認知症の症状がわかりやすく、気をつけることも多かった。今後の生活に役立てたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 高齢化の進む地域からの、「身近な問題である認知症について学び、それを地域で見守りや地域の取り組みに、どう活かしていくかを考えたい。グループワークもしたい。」というリクエストに応えたカリキュラム構成とした。グループワークではテーマを工夫したため、認知症を自分ごととして捉え、取り組みを考える機会提供ができた。

■ 研修風景

開会挨拶		「認知症予防と安心して暮らすために」	
			
「認知症の方も安心して暮らせる地域に向けて」		「いつまでも元気で暮らすために、シナプソロジーを取り入れて、楽しく認知症を予防しよう」	
			

— 令和6年度 —

ふくしのまちづくり講座（八幡西区・香月校区）実施要領

- 1 **趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校(地)区社協・区社協・市社協が協働で開催するものです。
今回の講座を通して認知症について学び、支え合いのまちづくりに向けて何をすべきか、また自分自身のことや香月校区のことについて、参加者みんなで考えるきっかけとなるよう実施します。
- 2 **実施主体** 香月校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会
- 3 **会 場** 香月市民センター 講堂（八幡西区香月中央1丁目7-1）
- 4 **対 象 者** 香月校区にお住まいの方
- 5 **受 講 料** 無料
- 6 **タイトル** 「香月でず〜っと暮らしたい！
〜いつまでもいきいきと安心して暮らすために〜」

7 研修日程・内容

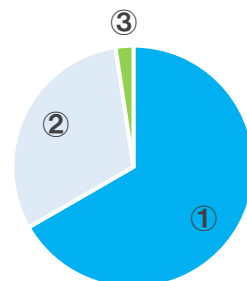
日 程		内 容	講 師 等
一日目 1月 18日 (土)	10:00 ～ 10:05	開 会	香月校区社会福祉協議会
	10:05 ～ 10:10	オリエンテーション	
	10:10 ～ 11:15	「認知症を楽しく知ろう ～手を取り合って支え合おう～」	キャラバン・メイト 石井 朱實 (株式会社フジケア デイサービスセンター都の杜 所長)
	11:15 ～ 11:30	香月校区のみんなが安心して暮らせる 支え合いのまちづくりについて	八幡西区社会福祉協議会 主任 諸田 成美
二日目 2月 22日 (土)	10:00 ～ 10:05	開 会	香月校区社会福祉協議会
	10:05 ～ 10:10	オリエンテーション	
	10:10 ～ 11:05	「書こう、考えよう、わたしのこれから。 香月のこれから」	株式会社 イフケア北九州 代表取締役 神田 紀久男
	11:05 ～ 11:25	みんなで話そう、香月校区のみらい ～ふくしのまちづくり計画のすすめ～	八幡西区社会福祉協議会 主任 諸田 成美
	11:25 ～ 11:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 担当部長 杉本 真奈美

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 研 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	49 人 16・33	47 人 95.9 %				2 日	3 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回答)		満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	45 件 95.7 %		28 62.2 %	13 28.9 %	1 2.2%	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 福祉協力員として役に立ちたい。自分も年を取っていくので、考えながら生活をしようと思います。
	■ 2回講座を受けて、認知症の事や終活について先生方の話を聞いて、色々と考えさせられました。勉強になりました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 開催にあたり、あらかじめ校区にアンケートを取って関心の高かった認知症と終活を取り入れ地域に周知した結果、多くの方に参加頂けた。
	■ これから小地域福祉活動計画を作成するにあたり、高齢化率の高い香月校区を今後どのような地域にしていきたいのかを考える、きっかけ作りとなる講座になった。

■ 研修風景

開会挨拶		1日目 「認知症を楽しく知ろう」を手を取り合ってみよう	
2日目 「書く、考える、わたしのこれから。香月のこれから」		2日目 「みなで話そう、香月校区のこれから」	

— 令和6年度 —

ふくしのまちづくり講座（戸畑区・北沢見地区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校(地)区社協・区社協・市社協が協働で開催するものです。
北沢見地区では、講座を通して住民が誰にも等しく訪れる老いとともに身近な問題となる認知症について知り、声かけや接し方・予防について学ぶ講座を行うことで、超高齢社会の中で支え合いの地域づくりに向けて何をすべきかを参加者みんなで考え、学ぶきっかけとします。
- 2 実施主体** 北沢見地区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場** 沢見市民センター（戸畑区小芝2丁目1番4号）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方・福祉協力員・民生委員・児童委員 等
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「北沢見 つながる！ふれあいのまちづくり」

7 研修日程・内容

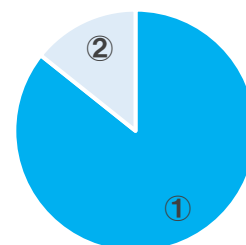
日 程		内 容	講 師 等
一日目 8月 24日 (土)	10:00 ～ 10:05	開 会	北沢見地区社会福祉協議会 会長 永谷 文代
		オリエンテーション	北沢見地区社会福祉協議会
	10:05 ～ 10:45	「夏の美味しい冷煎茶の作り方」	株式会社 辻利茶舗 会長 辻 利之
	10:55 ～ 11:40	「北沢見地区社協の活動について」 グループワーク「北沢見地区のここが好き。困っていること など お題ゲーム でおしゃべりしましょう」	戸畑区社会福祉協議会 主事 大内田 奈津子
二日目 9月 14日 (土)	10:00 ～ 10:15	「北沢見地区社協 小地域福祉活動計画について」	戸畑区社会福祉協議会 主事 大内田 奈津子
	10:15 ～ 10:55	「認知症とともに希望をもって暮らせるまちへ」	戸畑区役所 保健福祉課 地域包括支援センター 保健師 石井 友貴
	11:05 ～ 11:45	「音楽をつかって、元気・笑顔に」	音楽健康福祉士 菊池 一恵
	11:45 ～ 11:50	閉 会	戸畑区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	33 人	30 人					2 日	4 時間
	5・28	90.9 %	59 人	— 才				

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回答数)		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	26 件 86.7 %		18 69.2 %	3 11.5 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	意見
	■ 近所でつながりを持つことの大切さを話し合いの中で再確認することができた。 ■ 住んでいる地区の良い所を改めて考えることができました。今はあまり不安や困り事はありませんが、これから将来的に不安が解消できるようなネットワークがある事がわかって良かった。自分も少しでも廻りの人達のお役に立てる事があれば活動したい

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	点検・講評
	■ 日頃ふれあいネットワーク活動が活発ではない地域なので、「福祉協力員を増やす」「社協の活動を知ってもらう」を目的に、住民が気軽に参加できる内容にした。 ■ グループワークで地域について話し合う事で、良い所や課題を共有できたのは好評だったが、今後についての振り返りの時間が少なかった事が課題として残った。

■ 研修風景

「一日目」「夏の美味しい冷煎茶の作り方」		「一日目」「北沢地区卒協の活動について」 グループワーク「北沢地区のことが好き、困っていることをお題へおしゃべりしよう」	
「二日目」「認知症とともに希望をもって暮らせるまちへ」		「二日目」「音楽をつかって、元気・笑顔に」	

— 令和6年度 —

市民講演会 実施要領

孤独・孤立防止への取り組み

～おひとりさまの終活 安心して老いを迎えるために～

1 目 的

人と人との関係性や「つながり」が希薄化する現代社会では、困った時、誰かに「頼りたくても頼れない」「話したくても話せない」という状況が生み出されており、孤独・孤立の防止が喫緊の課題となっています。

そのため、身近に家族や頼れる人がいてもいなくても、誰もが安心して老いを迎え生き生きと暮らすために、人生の終わりについて考え、備える必要があります。

本講演会では、終活をテーマに、必要な備えやエンディングノート の活用法などについて学ぶとともに、孤独・孤立防止に取り組むボランティア活動～ふれあいネットワーク活動～について紹介し、支え合いのまちづくりへの参画の契機とします。

2 実施主体 北九州市社会福祉協議会

3 会 場 ウェルとばた 2階 多目的ホール（北九州市戸畑区汐井町1番6号）

4 対象者 テーマに関心のある方【定員90名】

5 受講料 無料

6 日程・内容 令和6年 11月2日（土）13：30～16：20 詳細裏面参照

7 申込方法 チラシ裏面「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAX・郵送・電話でお申込みください。

チラシ記載のQRからGoogleフォームでの申込みも可能です。

受付締切：令和6年 10月19日（土）17時まで必着

※応募多数の場合は抽選となります。受講の決定・研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせいたします。

8 事務局 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課 (研修担当：立野・杉本)

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた 3F

TEL：093 - 881 - 6321 FAX：093 - 881 - 6306

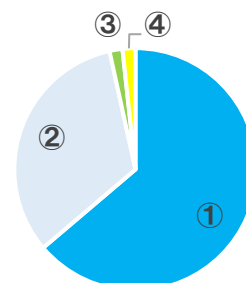
時 間	内 容
13:00～	受 付
13:30～13:35	開会・オリエンテーション 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課
13:35～15:05	講演 「安心して老いを迎えるために 何が必要？ 誰もがいつかはおひとりさま～終活について考えよう～」 講師 株式会社 イフケア北九州 代表取締役 神田 紀久男
15:05～15:15	休憩
15:15～15:55	事業紹介 「人生を最期まで自分らしく歩むために～エンディングノートの活用法～」 講師 北九州市社会福祉協議会 生活支援部 権利擁護課 課長 藤本 直子
	事業紹介 「こんな時どうする？終活相談のご案内について」 講師 北九州市社会福祉協議会 生活支援部 権利擁護課 課長 藤本 直子
15:55～16:15	事業紹介 「見守り・話し合い・助け合いの活動で、みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～ふれあいネットワーク活動について～」 講師 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課 課長 久留島 一暢
～16:20	閉会 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	111 人	85 人	85 人	71.2 才		1 日	3 時間
	19・92	76.6 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回答数)		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	どちらかと言うと不満だった	不満だった
	69 件	満足できたか?	37	19	1	1	0
	81.2 %		53.7 %	27.5 %	1.4 %	1.4 %	0 %



主な意見	■ 「おひとりさま」の本来の意味を認識できた。残された者に迷惑をかけたくないと思っていた事、死後においては世話人がいる事、迷惑の取違いをしていたようです。火葬までの流れ、埋葬の有無等知らない事ばかりでした。まず、家系図と遺言を作成していこうと思いました。 ■ もしもの時に相談するところがあると分かって安心しました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講演会募集記事を掲載した市政だよりの配布が始まると同時に、事務所には通販受付デスクのように、ひっきりなしに申し込み電話が殺到した。申し込みの83%は女性高齢者で、「おひとりさまなので、終活を学びたい。」という声が多かった。超高齢社会で生じる喫緊の課題とニーズが、講演会の実施で浮き彫りとなったと思う。
--------------------	---

■ 研修風景

開会		講演 「安心して老いを迎えるために何が必要? 誰もがいつかはおひとりさま・終活について考えよう」	
事業紹介 「人生を最後まで自分らしく歩むために」エントディングノートの活用方法」		事業紹介 「見守り・話し合い・助け合いの活動でみんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりふれあいネットワーク活動について」	

— 令和6年度 第1回 —

福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目 的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第 262 号認定）
- 3 対 象 者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内に
おいて停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経
験がある者
- 4 定 員** 30 人
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先しま
す。
- 5 受 講 料** 7,000 円
市内福祉有償運送実施団体登録者… 1,000 円
※市内福祉有償運送実施団体の運転者として登録予定の方は、
団体経由での申込みが必要。
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** ※裏面の通り
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和 6 年 5 月 17 日(金)～6 月 5 日(水)ま
でに、郵送または FAX にてお申込ください。
※受講の決定・研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせいたします。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課（研修担当）
(ボランティア・市民活動センター) 担当：田中、杉本
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた 3F
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

①【福祉車両】

- (1) **日程・会場** 令和6年6月22日(土) 9:15~18:25
北九州市立玄海青年の家(若松区大字竹並126-2)
- (2) **受講対象者** 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

(3) 研修内容

時 間	内 容		講 師	研修会場
9：15～ 9：20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		第 1 研 修 室
9：20～10：10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10：15～11：05		安全・安心運行と緊急時対応		
11：10～12：00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ（永田 淳）	
12：00～12：50	休 憩			
12：50～13：40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一	
13：45～14：45		介護技術		
14：50～15：50		基礎的な接遇技術		
15：55～16：55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ（派遣講師）	グ ラ ウ ン ド
17：00～18：20		福祉自動車運転方法(演習)		
18：20～18：25	閉会	ま と め		第 1 研 修 室

②【セダン型】

- (1) **日程・会場** 令和6年6月29日(土) 9:15~11:45
ウェルとばた12H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (2) **受講対象者** ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているがヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方

(3) 研修内容

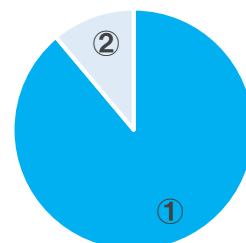
時 間	内 容		講 師	研修会場
9：15～ 9：20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
9：20～10：10	講義	利用者理解及び乗降介助等の 対応	作業療法士 熊添潤一	
10：20～11：40	実技	利用者理解及び乗降介助等の 対応		1 階 駐車場
11：40～11：45	閉会	ま と め		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	25 人 16・9	23 人 92%				1 日	9 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について 満足 できたか？	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		非常に 有意義だ	どちらか というと 有意義だ	どちらとも 言えない	あまり参考 にならない	全く参考 にならない
	19 件 82.6%		16 84.2%	2 10.5%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 介護や高齢者と普段関わることがないため、様々な知識が得られ勉強になった。
	■ 福祉車両で実技を体験したことで、サービス中の動きのイメージができた。想像していたよりも力仕事の場面が多くあったが、指導の中でやりやすい方法を教えてもらい、これからのサービスに生かしていきたいと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 従来周知期間を1ヶ月以上設ける所であったが、今回は市との調整が遅れ、約3週間での周知と短かった。しかし、福祉車両使用団体の需要は高く、25名の申込があった。
	■ 質問や実技の際に自発的に行動する方が多く、受講者が積極的に講習内容を習得しようとする意欲が高いことから、各団体での活動スキル向上を支援できたと思う。

■ 研修風景

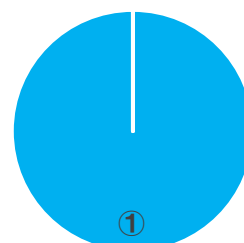
関係法令等 貞包健一氏		障害の知識及び利用者理解	
福祉自動車運転方法(演習)		修了証書授与	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	3人	2人	2人	51.7才		1日	2.5時間
	2・1	66.7%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		非常に有意義だ	どちらかという と有意義だ	どちらとも言えない	あまり参考にならない	全く参考にならない
	2件 100.0%	満足 できたか?	2 100%	0 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 車の乗り方で、自分ではなかなか気が付かない声かけの仕方を学べて良かった。
	■ 利用者がどんな状態なのか、利用者に何が一番最適なのかを考える事の大切さを知ることができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回、周知期間が短かったこともあり、セダン型車両を使用する NPO 団体等の都合がつかず、受講者が少なかったが、質疑応答やマンツーマンの実技指導が充実し、受講者の満足度が高かった。
	■ 午前中の研修終了後、活動をした受講者から「習ったことが早速実践で役に立った」との感想が寄せられた。今後も実践に役立つ研修を実施していきたい。

■ 研修風景

講義		実技①	
実技②		修了証書授与式	

— 令和6年度 第2回 —

福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第 262 号認定）
- 3 対象者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内に
おいて停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経
験がある者
- 4 定員** 30 人
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先しま
す。
- 5 受講料** 7,000 円
市内福祉有償運送実施団体登録者… 1,000 円
※市内福祉有償運送実施団体の運転者として登録予定の方は、団体経
由での申込みが必要。
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** 裏面の通り
※但し、②【セダン型】の受講は任意
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和 6 年 9 月 18 日(水)～10 月 22 日
(火)までに、郵送または FAX にてお申込ください。
※受講の可否や研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせし、
受講決定者には決定通知をお送りします。
研修当日は決定通知書をご持参ください。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課（研修担当）
(ボランティア・市民活動センター) 担当：田中、杉本
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた 3F
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

①【福祉車両】

- (1) **日程・会場** 令和6年11月9日(土) 9:15~18:25
北九州市立玄海青年の家(若松区大字竹並126-2)
- (2) **受講対象者** 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

(3) 研修内容

時 間	内 容		講 師	研修会場
9：15～ 9：20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		第 1 研 修 室
9：20～10：10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会	
10：15～11：05		安全・安心運行と緊急時対応	副会長 貞包健一	
11：10～12：00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ（永田 淳）	
12：00～12：50	休 憩			
12：50～13：40	講義	障害の知識及び利用者理解	理学療法士 高塚 光	
13：45～14：45		介護技術		
14：50～15：50		基礎的な接遇技術		
15：55～16：55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション	グラウン ド
17：00～18：20		福祉自動車運転方法(演習)	ほほえみ（派遣講師）	
18：20～18：25	閉会	ま と め		第 1 研 修 室

②【セダン型】

※福祉車両以外の自動車(セダン型)を使用して福祉有償運送を行う場合で、運転者が介護福祉等の資格を有していない場合、この【セダン型】を受講する必要があります。

- (1) **日程・会場** 令和6年11月16日(土) 9:15~11:45
ウエルとばた12H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (2) **受講対象者** ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているがヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方

(3) 研修内容

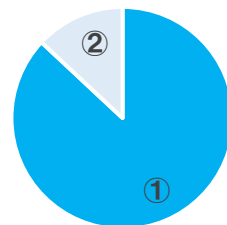
時 間	内 容		講 師	研修会場
9：15～ 9：20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
9：20～10：10	講義	利用者理解及び乗降介助等の 対応	理学療法士 高塚 光	
10：20～11：40	実技	利用者理解及び乗降介助等の 対応		1 階 駐車場
11：40～11：45	閉会	ま と め		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	28 人 15・13	25 人 89.3 %				1 日	9 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について 満足できたか？	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		非常に有意義だ	どちらかという 有意義だ	どちらとも言えない	あまり参考に ならない	全く参考に ならない
	24 件 96 %		20 83.3%	3 12.5 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 利用される方の立場になる事が大事だと理解しました。又、車を運転する責任と社会に対する認識を今一度再確認する思いです。
	■ 理論的かつ具体的な説明でわかりやすかった。実体験もあり、非常に今後の役に立つと思いました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 安心・安全運行の講義の中で、実際の交通事故の様子を視聴することで、より慎重に運転しようとの受講者の意識が高まった。
	■ 実車実技の際、福祉車両で車イスに人を乗せたまま走行することで、どれだけ利用者が不安定な状況にあるかが体験でき、今後の活動に役立つ内容だった。

■ 研修風景

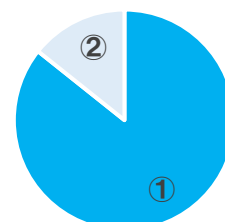
関係法令等に関する講義		障害の知識及び利用者理解	
福祉自動車運転方法（演習）		修了証書授与	

■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	12 人	12 人	12 人	56.9 才		1 日	2.5 時間
	9・3	100%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		非常に有意義だ	どちらかというと有意義だ	どちらとも言えない	あまり参考にならない	全く参考にならない
	10 件	満足できたか?	6	1	0	0	0
	83.3%		60%	1.7%	%	%	%



主な意見	意見
	■ 実技の演習がとてもわかりやすく、乗降時の注意点が把握できた。 ■ 昨年実際に自分がケガをして、車に乗降させてもらう立場になったのですが、演習通りにはいかない場合もあると実体験したので、利用者様とのコミュニケーション、情報共有は本当に大切ななあ、と感じました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	点検・講評
	■ 今回理学療法士の講師が初めて担当した。理論的な講義と、介護の現場での失敗談を交えての内容で、受講者に好評だった。 ■ 車両や車いすを使った体験型の講義は、受講者が利用者の立場で介助されることを体験できる貴重な講義だった。

■ 研修風景

講義	実技①
実技②	修了証書授与式

— 令和6年度 第3回 —

福祉有償運送運転協力者研修 実施要領

- 1 目 的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第 262 号認定）
- 3 対 象 者** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内に
おいて停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経
験がある者
- 4 定 員** 30 人
※希望者が定員を超える場合は、市内福祉有償運送実施団体登録者の受講を優先しま
す。
- 5 受 講 料** 7,000 円
市内福祉有償運送実施団体登録者… 1,000 円
※市内福祉有償運送実施団体の運転者として登録予定の方は、団体経
由での申込みが必要。
(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容** 裏面の通り
※但し、②【セダン型】の受講は任意
- 7 申込方法** 別紙「受講申込書」により、令和 6 年 12 月 4 日(水)～令和 7 年 1 月 7
日(火)までに、郵送または FAX にてお申込ください。
※受講の可否や研修詳細は、受付締切後郵送にてお知らせし、
受講決定者には決定通知をお送りします。
研修当日は決定通知書をご持参ください。
- 8 事務局** 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課（研修担当）
(ボランティア・市民活動センター) 担当：田中、杉本
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた 3F
TEL：093-881-6321 FAX：093-881-6306

①【福祉車両】

- (1) **日程・会場** 令和7年1月25日(土) 9:15~18:25
北九州市立玄海青年の家(若松区大字竹並126-2)
- (2) **受講対象者** 実施要領3の対象者のうち、第二種運転免許を有していない方

(3) 研修内容

時 間	内 容		講 師	研修会場
9：15～ 9：20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		第 1 研 修 室
9：20～10：10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会	
10：15～11：05		安全・安心運行と緊急時対応	副会長 貞包健一	
11：10～12：00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ（永田 淳）	
12：00～12：50	休 憩			
12：50～13：40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一	
13：45～14：45		介護技術		
14：50～15：50		基礎的な接遇技術		
15：55～16：55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション	グラウン ド
17：00～18：20		福祉自動車運転方法（演習）	ほほえみ（派遣講師）	
18：20～18：25	閉会	ま と め		第 1 研 修 室

②【セダン型】

※福祉車両以外の自動車(セダン型)を使用して福祉有償運送を行う場合で、運転者が介護福祉等の資格を有していない場合、この【セダン型】を受講する必要があります。

- (1) **日程・会場** 令和7年2月1日(土) 9:15~11:45
ウエルとばた12H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)
※駐車場(有料)の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (2) **受講対象者** ①の福祉車両研修の修了者又は、第二種運転免許を有しているがヘルパーや介護福祉士の資格を有していない方

(3) 研修内容

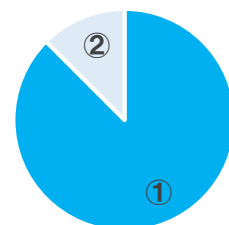
時 間	内 容		講 師	研修会場
9：15～ 9：20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・I 研修室
9：20～10：10	講義	利用者理解及び乗降介助等の 対応	作業療法士 熊添潤一	
10：20～11：40	実技	利用者理解及び乗降介助等の 対応		1 階 駐車場
11：40～11：45	閉会	ま と め		12H・I 研修室

■ 実施状況【福祉車両】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	19 人 15・4	17 人 89.5 %				1 日	9 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		非常に有意義に	どちらかという 有意義に	どちらとも言えない	あまり参考に ならない	全く参考に ならない
	17 件 100 %	満足 できたか?	14 82.4%	2 11.8 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	意見
	■ あらためて事故に対する認識と安全意識を痛感した。 ■ 実体験する事により利用者の気持ちがよくわかった。(視覚障害者、杖を使う人) ■ 福祉自動車だけでなく、車いすや介護について教えて頂き勉強になりました。同乗ボランティアとして気をつけるべき部分に多く気づくことができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	点検・講評
	■ 今回グループワークの最後に発表の場を設けた。実技での気づきや共有事項等について各班の代表者に話してもらった。講義の締めくくりとして有効だった。 ■ 冬期の午後の屋外での実技演習について、受講者・講師双方より、冬は夕方になるとより寒くなるため、実施時間を入れ替えた方が良いのではないかと意見があった。来年度は冬季の時間割変更を検討したい。

■ 研修風景

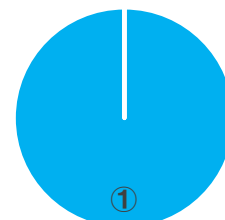


■ 実施状況【セダン型】

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	4人	4人	4人	62.3才		1日	2.5時間
	4・0	100%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		非常に有意義だ	どちらかという と有意義だ	どちらとも言えない	あまり参考にならない	全く参考にならない
	4件	満足できたか?	4	0	0	0	0
	100%		100%	%	%	%	%



主な意見	■ (介助実技を重点的に行うことで)福祉車両研修時よりも深く介助について理解する事ができた。
	■ 車の乗降の際に色々な気づきがあった。
	■ 車の構造と人体の関連がわかり、大変理解を深められた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 受講者が少人数だった分、質問や実技演習の時間が充分とれ、受講者の満足度も高かった。
	■ 福祉車両のみ受講の方が、セダン型も申し込んだと誤認され、来場された。今後は申込様式の見直しや、配布レジュメに申し込んだ研修のみ記載する等、検討したい。

■ 研修風景



— 令和6年度 —

～障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座 実施要領～

知的・発達障害のある人への ボランティア入門講座

- 1 目 的** 本講座では、誰もが安心して暮らせる共生社会を目指して、障害のある人の心に寄り添い、支援について学ぶとともに、ボランティア活動に関心のある方を活動の窓口へつなげます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場** ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** 知的・発達障害のある人に関わるボランティア活動に関心がある方（定員30名）
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受 講 料** 700円（講座当日に、現金で集金致しますので、お釣りのないようご準備ください。）
- 6 日程・内容** 令和6年9月14日（土）

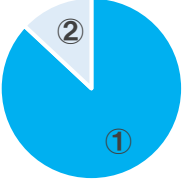
日 時		内 容	講師等
9月14日 （土）	9:30～ 10:00	受 付	
	10:00～ 10:10	開 講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	10:10～ 10:50	災害時、あなたならどうする？ 寸劇『知的・発達障害のある人が避難所に来たら』	北九州市手をつなぐ育成会(親の会) 啓発キャラバン ちゃちゃ隊
	10:50～ 11:35	グループディスカッション 『障害のある人もない人も誰にでも優しい支援とは？』 ～災害時、私たちにできることから考える～	ファシリテーター 認定NPO法人 好きっちゃ北九州 理事長 入門 真生 北九州市障害福祉ボランティア協会 常務理事 宮崎 浩
	11:35～ 11:55	まとめ	
	11:55～ 12:00	閉 講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

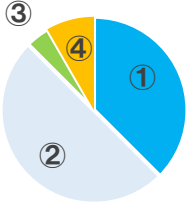
受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	31人 7・24	26人 83.9%					
			26人	—才		延1日	延2時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回答)		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	24件 92.3%	満足できたか?	20 83.3%	3 12.5%	0 0%	0 0%	0 0%



K P I	回答	ボランティアについて	①	②	③	④
	(回答)		やってみたいと思う	情報収集をして今後活動を検討する	どちらとも言えない	しないと思う
	24件 92.3%	活動希望	9 37.5%	12 50%	1 4.2%	2 8.3%



主な意見	■ 声かけの仕方（声の大きさ、視覚的に訴える・・・など）具体的に考える事ができた。
	■ こういう状況の時にどう行動するかがわかりやすく、またどうすればいいのか、目で見ても理解できた事が良かったです。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 臨場感のある寸劇の台本を使用することで、受講生も具体的に状況をイメージする事ができグループディスカッションへの移行がスムーズだった。
	■ グループディスカッションは、様々な立場の方が集まって意見交換することで、積極的に関り支援者としての意識の構築に役立った。

■ 研修風景

開会挨拶



「災害時あなたならどうする? 寸劇『知的・発達障害のある人が避難所に来たら』」



グループディスカッション 『障害のある人もない人も誰にでも優しい支援とは?』～災害時、私たちにできることから考える～



「まとめ」



「災害ボランティア」養成講座(小倉南区) 実施要領

- 1 目 的

近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。

本講座では、過去の災害を振り返り、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えなど、災害時の基礎知識を学ぶとともに、さまざまな災害ボランティア活動を紹介しながら、地域の中で協力し、支え合う活動につなげることを目的に開催します。
- 2 実施主体

北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場

北九州市立小倉南生涯学習センター 3階 視聴覚室
(小倉南区若園5丁目1-5)
- 4 対 象 者

災害ボランティアに関心のある方
【定員 30 名】(申込み多数の場合は、抽選させていただく場合があります)
- 5 受 講 料

無料
- 6 日程・内容

令和6年9月27日(金)

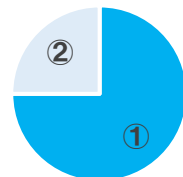
時 間	内 容	講 師 等
13:00~	受 付	
13:30~	開 会	小倉南区社会福祉協議会 事務所長 米原 徹二
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:35~ 14:15	災害現場での経験を地域で活かそう (小倉南区版)	小倉南区役所コミュニティ支援課 コミュニティ担当係長 井上 健吾
14:15~ 14:35	災害ボランティア活動の基礎知識	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課
~14:45	休 憩	
14:45~ 15:45	災害時に求められる役割と心構え	公立大学法人 北九州市立大学 地域共生教育センター 副センター長 地域創生学群 准教授 村江 史年
~15:50	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

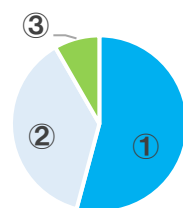
受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	29人 21・8	26人 89.7 %	26人	—才			1日	2日

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回答)		満足できた	どちらかという満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	24件 92.3 %	満足できたか?	18 75.0 %	6 25.0 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



K P I	回答	ボランティアについて	①	②	③	④
	(回答)		やってみたいと思う	情報収集をして今後活動を検討する	どちらとも言えない	しないと思う
	24件 92.3 %	活動希望	13 54.2%	9 37.5%	2 8.3%	0 0%



主な意見	■ 災害の経験がない方にとっても、一度今回のような研修を受ける機会があれば良いと思いました。
	■ 自身の居住地の災害リスク等を改めて認識できた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 小倉南区の福祉協力員、民生委員、送迎ボランティア登録者、災害ボランティア登録者等、地域の中心となっている方々が幅広く受講され今回の研修で新規の災害ボランティア1名の登録に至った。
	■ 講義内容は、若松区の講座の構成と重複しないよう考慮されていた為、両区とも受講された方にも好評だった。

■ 研修風景



— 令和6年度 —

「災害ボランティア」養成講座(若松区) 実施要領

- 1 目 的

近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。

本講座では、過去の災害を振り返り、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えなど、災害時の基礎知識を学ぶとともに、さまざまな災害ボランティア活動を紹介しながら、地域の中で協力し、支え合う活動につなげることを目的に開催します。
- 2 実施主体

北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場

クレカ若松 2階 市民ホール
(若松区赤岩町13-1)
- 4 対 象 者

災害ボランティアに関心のある方
【定員 30 名】(申込み多数の場合は、抽選させていただく場合があります)
- 5 受 講 料

無料
- 6 日程・内容

令和6年9月18日(水)

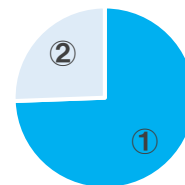
時 間	内 容	講 師 等
13:00~	受 付	
13:30~	開 会	若松区 社会福祉協議会 事務所長 山本 隆司
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:35~ 14:15	知って安心、災害への備え！(若松区版)	若松区役所 総務企画課 地域防災担当係長 入江 隆明
14:15~ 14:35	災害ボランティア活動の基礎知識	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課 課長 茅切 敦美
~14:45	休 憩	
14:45~ 15:45	災害時に求められる役割と心構え	公立大学法人 北九州市立大学 地域共生教育センター 副センター長 地域創生学群 准教授 村江 史年
~15:50	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

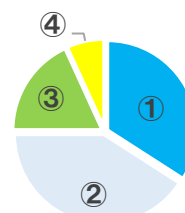
受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	58人 33・25	47人 81.0%				1日	2.5時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		満足できた	どちらかという満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	45件 95.7%		32 71.1%	11 24.4%	0 0%	0 0%	0 0%



K P I	回答	ボランティアについて	①	②	③	④
	(回収率)		やってみたいと思う	情報収集をして今後活動を検討する	どちらとも言えない	しないと思う
	45件 95.7%		15 33.3%	18 40.0%	8 17.8%	3 6.7%



主な意見	■ 災害の備えが日頃からできていないので、この養成講座を基に災害が発生した時の家族の安全、避難場所やロードマップを参考に日頃の備えをする。「災害に求められる役割と心構え」大変役に立ちました。よく理解できました。
------	--

■ 事業点検

点検・講評	■ 若松区の福祉協力員、民生委員、送迎ボランティア登録者、災害ボランティア登録者等、地域の中心となっている方々が幅広く受講され今回の研修で新規の災害ボランティア5名の登録に至った。
(今後の取り組み)	■ 災害は、いつでも起こりうる事だと改めて知る事で、防災意識の醸成に役立った。

■ 研修風景

開会挨拶		「知って安心、災害の備え！」(若松区版)	
「災害ボランティア活動の基礎知識」		「災害時に求められる役割と心構え」	

-令和6年度-

ボランティアグループ運営研修実施要領

～集まろう・つながろう・学び合おう！つ ながりから何ができるかを考えよう～

- 1 趣 旨** ボランティア・NPO等の活動を始めたばかりの団体から活動中の団体まで広く集まり、リーダー等がグループの運営手法や活動事例を学び合い、団体同士の交流を通じて相互のつながりを促進し、ボランティア・市民活動の増進とスキルアップを図る研修です。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場** ウェルとばた 12H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** ボランティア・NPO等で活動されている方【定員 30 名】
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受 講 料** 700 円（講座当日に、現金で集金致しますので、お釣りのないようご準備ください。）
- 6 日時・内容** 令和 6 年 11 月 30 日（土）13:30～16:30

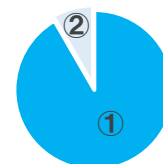
時 間	内 容	講 師 等
13:00 ～	受 付	
13:30 ～ 13:35	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:35 ～ 15:10	まずは知り合おう ～私の所属するグループ・団体紹介～ 協働のための場づくり、人つなぎ ～メンバー・活動者を増やしたいお悩み解 決法も～	認定 NPO 法人好きっちゃ北九州 理事長 入門 真生
15:10 ～ 15:20	休憩	
15:20 ～ 16:25	グループワーク ～それぞれの団体が協働でできること、広 がる可能性などグループ毎にアイデアを出 しあって考えよう～ まとめ ～どんなアイデアが出た？いろいろな団体 が知恵を出しあい、学び合おう～	認定 NPO 法人好きっちゃ北九州 理事長 入門 真生
～ 16:30	閉 会	

■ 実施状況

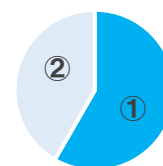
参 加 者	申込者数 (男・女)	出席者数 (出席率)	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	18 人 10 ・ 8	14 人 77.8 %	14 人	64.1 才		延 1 日	延 3 時間

■ アンケート結果

全 体 評 価	回 答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回答)		満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	12 件 85.7 %	満足 できたか?	11 91.7 %	1 8.3 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



K P I	回 答	ボランティア について	①	②	③	④
	(回答)		やってみたいと思う	情報収集をして今後の活動を始める	どちらとも言えない	しないと思う
	12 件 85.7 %	活動希望	7 58.3 %	5 41.7 %	0 0 %	0 0 %



主 な 意 見	■ 自団体の話を聞いてくれてアドバイスをもらい、とても良かったです。
	■ 活動内容は違うけど、人と人での共通する話題や改善点について勉強になりました。
	■ 3回連続で受講させて頂きましたが、とても意義ある学びの機会になりました。

■ 事業点検

点 検 ・ 講 評 (今後の取り組み)	■ 約半数の受講者が今年も参加され、団体同士の交流や活動の紹介を熱心に聞かれていた。また、小グループに分かれてのグループワークでは各団体の課題を話した後、解決に向けてのアドバイスなど、学び合いの輪が広がっていた。次年度も参加したいという声が複数あり、ネットワークの下地が育ちつつあるのを感じた。
------------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		「まずは知り合おう」私の所属するグループ・団体紹介」	
「それぞれの団体が協働でできること、広がる可能性などグループ毎にアイデアを出しあって考えよう」		「どんなアイデアが出た？いろいろな団体が知恵を出しあい、学び合おう」	

令和6年度 地域福祉活動専門研修 実施要領

福祉の心を育もう

～ 福祉の心が根づくまちづくりに向けて ～

- 1 目 的

私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、小地域における福祉活動の要である校(地)区社協が中心となり、地域の福祉活動に取り組んでいます。

多くの校(地)区社協においては、「共に生きる力」を育むことを目的とした福祉教育が、様々な形で実践されています。

本研修では、福祉教育の意義を学ぶとともに、子どもを主役とした福祉教育（ウェルクラブ）の事例を紹介し、楽しく、未来につながる実践方法や福祉教育を通じた地域の福祉力醸成について考えます。
- 2 実施主体

北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場

ウェルとばた2階 多目的ホール（戸畑区汐井町1-6）
- 4 対 象 者

校(地)区社会福祉協議会の役員、福祉協力員、民生委員・児童委員など
【定員 90 名】

※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 5 受 講 料

無料
- 6 日程・内容

令和6年12月 5日（木）

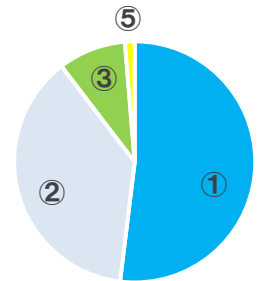
時 間	プログラム	講 師 等
13:30 ～13:40	開講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:40 ～14:45	次世代の地域福祉を担う子どもたちの「福祉の心」を育む活動事例に学ぶ ～ 事 例 発 表 ～	コーディネーター 北九州市立大学 地域創生学群 特任教員 末永 和也
	◆発表 ① 「ウェルクラブ活動をきっかけとした地域のつながりづくり」	門司区 白野江校区社会福祉協議会 副会長 石本 美佐江
	◆発表 ② 「地域で育む思いやり、助け合いの心」	小倉北区 中井校区北小倉社会福祉協議会 会長 廣木 直利 会計 中川 智左子 福祉協力員 濱島 智子
	パネルディスカッション	
～14:55	休 憩	
14:55 ～15:35	講 義 「福祉教育を通じて地域のふくし力を高めよう ～支え合いのまちづくりを目指して～」	北九州市立大学 地域創生学群 特任教員 末永 和也
～15:40	閉 講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

参 加 者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	100 人 42 ・ 58	94 人 94.0 %				1 日	2. 時

■ アンケート結果

全 体 評 価	回 答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回答)		全くその通り	どちらかという その通り	どちらとも いえない	どちらかと言うと そうでもない	全くそうではない
	82 件 87.2 %		40 48.8 %	29 35.4 %	7 8.5 %	0 0 %	1 1.2 %



主 な 意 見	■ 各校区で子ども達への福祉への取り組みがあることを民生委員の一年生として初めて知り、大変有意義な研修会でした。今日の研修内容を小倉南区の民生委員達にも伝えたいと考えております。
	■ 昨年度も参加しました。他の校区のウェルクラブ活動を知る事ができて良かったです。参考にさせていただいて、来年度の活動に生かしたいと思っています。

■ 事業点検

点 検 ・ 講 評 (今後の取り組み)	■ 2校区の事例発表と末永先生の講義を併せ聞くことで、福祉教育の推進により、地域の福祉力の醸成が可能になる事、また、地域住民（子どもから高齢者まで全ての世代）が一堂に会して参加できる有効な活動の共有ができたと思う。
	■ 未実施の校（地）区のモチベーションアップにつながった。

■ 研修風景

開会の挨拶		『次世代の地域福祉を担う子どもたちの「福祉の心」を育む活動事例に学ぶ』事例発表	
講義「福祉教育を通じて地域の力を高めよう」を支援会の皆様へ		研修風景（質疑応答）	

令和6年度 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」実施要領

「地域防災力の強化～なぜ防災にコミュニティが必要なのか～」

- 1 目 的** 近年、気候変動の影響から毎年のように大規模な災害が発生しており、どのような備えがあれば災害時の被害を最小限に抑えることが出来るのかを誰もが考えておく必要があります。
- 阪神・淡路大震災や東日本大震災などにおいては、地域の人々のつながりが防災、減災に影響することが実証されており、自分や身近な人を助ける為には、日頃からの備え（自助）とともに、地域での助け合い（共助）が欠かせないことがわかります。
- 本セミナーは、小地域福祉活動のリーダー的役割を担う方を対象に、日頃の地域のつながりの強化と、これからの市民防災・地域防災の在り方を考えていくことを目的として開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場** ウェルとばた3階 中ホール（戸畑区汐井町1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** 校(地)区社協役員など、小地域福祉活動においてリーダー的役割を担う方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 日程・内容** 令和7年2月28日（金）

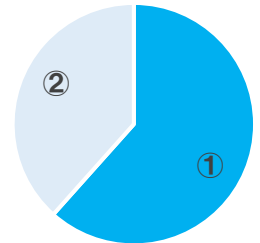
時 間	内 容	講 師 等
13:30 ～	受 付	
14:00 ～ 14:10	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
14:10 ～ 15:55	講 義 「地域防災力の強化 ～なぜ防災にコミュニティが必要なのか～」 (途中休憩 10 分、質疑応答 15 分を含む)	地域防災研究所 所長 (防災伝道師) 大西 賞典
15:55 ～ 16:00	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)					延	延
	147 人 100・47	145 人 98.6%				1 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回率)		非常に有意義に	どちらかと言うと有意義に	どちらとも言えない	あまり参考にならない	全く参考にならない
	125 件 86.2%		77 61.6%	48 38.4%			



主な意見	■ 現在の地域活動に大変役に立ちます。防災活動と事後の活動をしっかり分けて考える事を知りました。
	■ 準備された防災訓練では駄目だと思った。誰もやらなくても、自分から始めること。研修で色々な事を学ぶ事ができて良かったです。
	■ 基本定義「大事な人を守る為」に防災をやるのだと知った。伝えたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 防災は「自分の大切な人を守ること」とのキーワードは多くの受講者の意識づけとなった。その上で、地域のコミュニティが必要であることは、日頃の地域福祉にも通じると言う今回の研修を、今後地域でどう活かしていくかが課題。
	■ 配布資料をペーパーレスにして、QRからダウンロードして活用するやり方だったが約3%の参加者から紙の資料が欲しかったとの声があった。

■ 研修風景

開催挨拶		「地域防災力の強化」なぜ防災に「コミュニティが必要なのか」	
講義の様子		閉会挨拶	

— 令和 6 年度 —

校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 実施要領

- 1 目 的** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」のために、校(地)区社会福祉協議会が中心となり、地域住民主体の小地域福祉活動を展開しています。
今回の研修では、新しく校(地)区社会福祉協議会の役員に就任された方々に、社協活動の基本を確認していただくとともに、リーダーとして校(地)区社会福祉協議会をどのように運営していくのか、市・区社会福祉協議会と一緒に考えていきます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場** ウェルとばた 2 階多目的ホール（戸畑区汐井町 1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** 新たに校(地)区社会福祉協議会役員に就任された方 【定員 90 名】
（新任の会長・副会長・ふれあいネットワーク部会長等）
- 5 受 講 料** 無料
- 6 日程・内容** 令和 6 年 6 月 20 日（木）

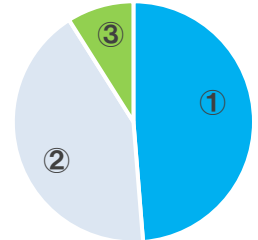
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30 ～ 13:40	開 会	北九州市社会福祉協議会 常務理事 田中 直子
13:40 ～ 14:00	講 義 「小地域福祉活動の意義と 校(地)区社協運営について」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 部 長 平野 謙太
14:00 ～ 14:55	事例紹介 「地 域 福 祉 活 動 の 事 例 に 学 ぶ」	コーディネーター 北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 末永 和也
	事 例 I これからの「社協活動」について	八幡東区前田第四地区 社会福祉協議会 会 長 久野 尚也
	事 例 II 持続可能な地域福祉活動を目指して	戸畑区西戸畑地区 社会福祉協議会 会 長 今泉 孝子
～15:05	休 憩	
15:05 ～15:55	講 義 「地域のつながりと共に生きる力を育む」	北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 末永 和也
～16:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 担当部長 杉本 真奈美

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	92 人	87 人	87 人	— 才		1 日	2.5 時間
	50・42	94.6 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回弾)		全くその通り	どちらかというその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでもない	全くそうでもない無回答
	78 件	満足 できたか?	38	33	7	0	0
	89.7 %		48.7%	42.3%	9.0%	0.0 %	0.0%



主な意見	■ 事例紹介でも具体的な事業が明確に述べられ今後の活動に生かしていきたいと思う。
	■ 高齢化が進む中、社協活動の根幹である支え合い・見守り活動が大事なんだと思いました。 (原点回帰と思いました。地域を知る為の福祉マップ作りが参考になりました。)
	支える側と支えられる側と二分するのではなく、共に地域で生きるという事が大事なんだと思いました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 各地区の取り組みについては、特色のある具体的な事例内容に参加者の関心が集まり、自分の地域でも参考にしたいという声を引き出す事が出来た。
	■ 配布資料の修正や、舞台転換で設営の時間を要し、全体の講義時間に影響が出てしまったので来年度は、事前確認の徹底を図りたい。
	■ 末永先生の講義は、新しい知識や情報が得られ、アンケートでは、9割がその通りだという回答があった。

■ 研修風景

「小地域福祉活動の意義と校(地)区社協運営について」		「地域福祉活動の事例に学ぶ」	
「地域のつながりと共に生きる力を育む」		研修風景	

— 令和6年度 —

まちづくりゼミナール 実施要領

- 1 目的** 「まちづくりゼミナール」は、主に、地域で活躍する指導者を支援するため、ゼミナール形式により、地域づくりのための情報交換・討論等を行いながら、地域コミュニティの再生に取り組む研修会です。
今回の研修では、災害時における行政の対応等についての基礎知識を学んだうえで、災害時の避難所運営や受け入れる住民への配慮、とりわけ高齢者・女性・障がいのある方等をはじめとして、多様性に対応した配慮等について、自分達にできること、地域でできることを一緒に考え、災害に強いまちづくりを目指したいと思います。
- 2 実施主体** 社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
- 3 受講対象** 校(地)区社協・地区民児協・まちづくり協議会の役員
市民センター館長 及びテーマに関心のある方 30名
- 4 研修会場** ウェルとばた 12階 H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
- 5 研修日時** 11月20日（水）、12月18日（水）、R7年1月15日（水）
いずれも10：00～12：00
- 6 参加費** 無料
- 7 テーマ** 「どうする？災害時」～災害に強いまちづくりを考えよう～
- 8 研修内容**

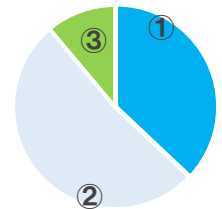
日 程	内 容	講 師
一 目 目 11月20日 （水）	災害時における行政の対応等についての基礎知識	北九州市 危機管理室 危機管理課 防災専門官 中島 典章
二 目 目 12月18日 （水）	誰一人取り残さず災害を乗り越えるために～避難所運営ゲーム（HUG）を体験してみよう！～	北九州市 危機管理室 地域防災担当 重松 孝旺
三 目 目 R7 1月15日 （水）	災害時こそ互いに助け合おう！ ～エスノグラフィーで災害を模擬体験しよう～	日本赤十字社 福岡県支部 事業課 救護・福祉係 坂下 卓也

■ 実施状況

参 加 者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	32 人 22・10	29 人 90.6 %	82 人	— 才		3 日	6 週

■ アンケート結果

全 体 評 価	回 答	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
	(回答数)		満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり 満足できなかった	不満だった
	27 件 93.1 %		10 37.0%	14 51.9 %	3 11.1%	0 0%	0 0 %



主 な 意 見	■ 校区内での防災意識を高める事に努力します。
	■ 今後、起こり得る大災害時に、避難所運営としてやらなくてはならない事をHUGを通してすごく考えさせられた。重要な気付きを得ることができ、これからのまちづくり活動の明確な方向性を見つけることができ、大変満足している。

■ 事業点検

点 検 ・ 講 評 (今後の取り組み)	■ 災害時の基礎知識や避難所運営等の体験ゲームをディスカッションしながら学ぶ講座で、今後地域でも活用できる内容だった。
	■ グループワークが好評であったが、一部の参加者が自分の地域の取り組み事例を話すことに時間を費やすことがあった為、今後その状況をどう修正するかが課題。

■ 研修風景

一日目「災害時における行政の対応等についての基礎知識」		二日目「誰一人取り残さず災害を乗り越えるために避難所運営ゲーム(HUG)を体験してみよう」	
三日目「災害時そ互いに助け合おう！エスノグラフィで災害を模擬体験しよう」		閉会挨拶	

地域を支援するためのスキルアップ研修①

～ふくし教育プログラム（ふくし教育出前授業） の実施を通じて地域の福祉力を醸成する～ 実施要領

- 1 目 的** 地域を支援する社協職員が地域で、出前講演や福祉教育プログラム等を通じて、地域福祉活動に携わる人材育成を行う際に、必要となる知識やスキルを学び、支援力向上を目指します。
今年度は、「ふくし教育プログラム」の実施開始にあわせて研修を開催し、学校と社会福祉協議会や協力団体、地域が連携して子どもたちの「多様性を認め合う力」を醸成していく場でのプログラムの実施や進手法、ノウハウについて学び、習得します。
- 2 開催日時** 令和6年7月10日（水）
- 3 会 場** ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
- 4 対 象 者** ふくし教育出前授業に関わる職員（定員30名）
※定員を超える場合は動画配信のご案内をさせていただきますので、ご了承ください。
- 5 日程・内容**

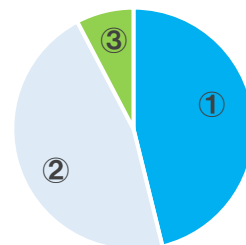
日 時		内 容	講師等
7月10日 （水）	13:00 ～	受 付	
	13:30 ～	開 講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課
	13:40 ～ 14:30	福祉教育プログラムについて ・概要と出前授業実演	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課 課長 茅切 敦美 主事 長野 有花
	14:30 ～ 16:00	グループワーク（出前授業演習）	
	16:00～ 16:45	「福祉教育の重要性について」 「ふくしすごろく・ふくしマークビンゴについて」	北九州市立大学 地域創生学群 特任教員 末永 和也 福祉教育サポーター
	16:45 ～ 16:55	全体の振り返り	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課 課長 茅切 敦美
	～17:00	閉講	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 活動推進課

■ 実施状況

受 講 者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 研 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	25 人 6 ・ 19	21 人 84.0 %				1 日	3.5 時間

■ アンケート結果

全 体 評 価	回 答	研修全体 について 満足 できたか？	①	②	③	④	⑤
	(回答)		満足できた	どちらか と言う 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満足だった
	13 件 61.9 %		6 46.2 %	6 46.2 %	0 7.6 %	0 0.0 %	0 0 %



主 な 意 見	■ 他の人の実演を見て学びがあった。みんなで考えることで、深く考えることができた。
	■ 福祉は特定の人のもではなく、誰もが幸せになる権利があるという話が、ビンゴゲームやすごろくになると、どうしても特定の人（障害者や妊婦、高齢者）だけの福祉になってしまうので、気を付けてやりたいと思った。

■ 事業点検

点 検 ・ 講 評 (今後の取り組み)	■ 小学校でのふくし教育プログラムの出前授業開始前に実際にふくし教育出前授業に関わる職員中心に、講義とグループに分かれての実演を行った。研修により、市区社協職員が一体となつての事業推進の意識醸成と、小・中学生に興味を持って貰える話し方のポイント講義等で各自が実施を行う上でのスキル向上につながったと思う。
------------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		「福祉教育プログラムについて・概要と出前授業実演」	
「グループワーク」		「福祉教育の重要性について」「ふくしすごろく・ふくしマークビンゴについて」	

